

## 第23回再生技術部会の開催

平成30年6月16日（土）13時30分より、豊富町定住支援センター（ふらっと★きた）多目的ホールにおいて、第23回再生技術部会が会員25名ほか、一般傍聴者を含め約60名の参加により開催されました。

当日は、「緩衝帯・沈砂池のモニタリング」について北海道開発局稚内開発建設部から、「自然再生事業の実施状況と上サロベツ自然再生実施計画書（案）」について環境省北海道地方環境事務所から、「稚咲内砂丘林自然再生事業平成29年度の実施状況」について林野庁北海道森林管理局から報告がありました。

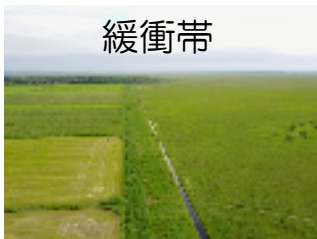


各報告に対して、会場から活発な意見が出され、自然再生事業に対する関心の高さがうかがえました。

【再生技術部会の様子】

### ◇ 取組状況についての報告

緩衝帯



沈砂池



#### 【北海道開発局稚内開発建設部】

##### 【緩衝帯】

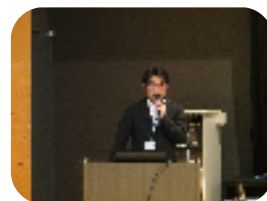
- 湿原内の地下水位は保たれており、緩衝帯の湿原地下水位保持効果は発揮されている。

##### 【沈砂池】

- 沈砂池全体で累計約1,800m<sup>3</sup>の土砂が捕捉されており、下流域への流下土砂軽減効果は発揮されている。

##### 【地元管理移行後のモニタリング計画（案）】

- これまでのモニタリング結果を踏まえ、豊富町及びサロベツ農事連絡会議と協議の上、各モニタリング項目について、効率的な手法を検討中である。



## 【環境省稚内自然保護官事務所】

【サロベツ川放水路南側湿原周辺の乾燥化対策】

- 地下水位が上昇、もしくは維持されており、目標はおおむね達成されている。



【原生花園園地跡地における湿原植物の回復】

- 植生は順調に回復している。植生遷移の途中のため引き続き中長期的な視点でモニタリングを継続する。

ササの剥ぎ取り区



【泥炭採掘跡地の再生】

- 裸地の植生は回復してきており、今後はボランティア等による植生回復を主体に実施予定。

【丸山周辺のササ対策】

- ササの剥ぎ取り、溝の造成を行った後の除去効果と植生回復状況を検証中。

## 【林野庁北海道森林管理局】



【砂丘林帯湖沼群の水位低下の抑制】

- 堆雪柵による雪溜め効果は発揮されている。
- 植栽木については植栽地の選定が必要。



【砂丘林の修復および保全】

- 立ち枯れ箇所では自然に更新が進んでいく見込み。
- 現状を把握するため、エゾシカ食害影響調査を実施した。

## 第17回上サロベツ自然再生協議会の開催

再生技術部会に引き続き、平成30年度上サロベツ自然再生協議会が開催されました。梅田会長の挨拶後、再生技術部会の井上座長、再生普及部会の吉村座長より、それぞれの活動報告がされました。

その後、環境省より「上サロベツ自然再生事業実施計画書の見直し」、及び「上サロベツ自然再生普及行動計画の改訂」について説明があり、「上サロベツ自然再生事業実施計画書の見直し」については、変更箇所や変更理由を簡潔・明確に説明する資料を作成することをもって了承とされました。

また、「上サロベツ自然再生普及行動計画の改訂」については、「エコモー☆サポーター」の役割を明確にし、普及再生部会と連携して活動を進めていくことが確認され了承されました。

【再生協議会の様子】



最後に、情報提供として、NPO法人サロベツ・エコ・ネットワークより「自然再生全国会議参加報告」、北海道開発局稚内開発建設部より「農業農村工学会賞『上野賞』受賞の紹介」がされ、全ての議事が滞りなく終了しました。